

～ 院長コラム ～

新型コロナウイルスによる感染症の件

小児科の先生方で議論があります。

アメリカのようなロックダウンした国、スウェーデンのように制限をかけなかった国、日本のように自粛をお願いした国、どの国も感染者のピークアウトは3月下旬でした。

緊急事態宣言がされましたが、結果は差がありませんでした。

それを検証する感染症の委員会も解散となり、誰も評価しないまま終わりになりそうです。

何だったのか、この数ヶ月は。

緊急事態宣言が解除され、しばらくして国内でコロナ感染者数が増えている報道がされています。

報道されるのはPCR陽性者だけです。

重傷者や死亡者は一向に増えていません。

東京都連日100名以上が検査陽性になっているにも関わらず、重傷者はずっと下り坂です。

感染者数よりも大切なのは重傷者や死亡者数が大切です。

マスクは連日目を引くために、危ないという情報のように流しています。

これは問題です。

世界的にコロナは風邪化してきています。

理由はよくわかりませんが事実です。

もうそろそろコロナを指定感染症から外して、通常のウイルス感染症として扱った方が良くと思います。

大阪の西村龍夫先生らの意見に賛同します。

「こども健康ネットブログ」より



なかしまこどもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



こども健康ネットブログ
QRコード

漢方ファン

— Vol. 10 (2020年8月) —



 なかしまこどもクリニック